



初会合、平行線に終わる

市長と業者社長、舟・車券売場巡り

彦根市町内に建設が計画されている場外舟券・車券売場について、設置に反対している獅山向洋市長と、開発業者・トランスワードの寺田正人社長が四日、大阪市内にある彦根市側の弁護士事務所ですべて初めて会合した。しかし、話し合いは互いの考えを述べただけで平行線のまま終わった。

会合には、市側から市長と弁護士二人、トランスワードから寺田社長と女性社員、弁護士二人の合計七人が出席。寺田社長から舟・車券売場を含めた施設全体の概要説明があった後、市長に反対理由を求めた。

市長は、同地に計画されている温浴施設やそのほかレジャー施設の建設には賛成したものの、舟・車券売場については▽青少年への影響▽地元住民の反対▽交通渋滞の面から設置に反対していると述べた。

これに対しトランスワード側は、入場定員を二五〇人に制限することで交通渋滞が解消できることや、多

くの地元住民から賛同を得ていることなどを詳しく説明し同意を求めた。

結局、初めての会合は意見交換に終始したが、事態の打開に向け、今後も話し合いが継続して行われることが求められる。